

読むだけで、元気になるレポート

パートナー 村松 達夫

皆さん、こんにちわ。一般的には梅雨は嫌なものですが、農家にとっては大切な時期です。置かれている立場で全然違いますね。さて今月もご笑読頂ければ幸いです。

【今月の発見】

プラモデル式・スタッフ育成術！

「アイツはどんな教育してもムダだ」「自分の頭で考えるということをしない」これらは多くの経営者の口癖です。そこで今回はプラモデルの楽しみ方を応用したユニークなスタッフ育成術をお教えしたいと思います。

そのポイントを一言で言うと、

「ほとんどギリギリまでヒントを出してあげる」

です。

一体どういうことなのか？具体的な例を出しながら説明していきましょう。

社長「山田君、お客さんが呼べるイベントは何かないかな？」

山田君「・・・」

社長「例えばだけど、ライブと食事とゲームを盛り込んだ内容で何か思いつかないか？」

山田君「そうですね・・・。」

社長「じゃあさ、君が最近面白いと思ったライブと食事会とゲームを教えてくれるか？」

山田君「あ、ハイ。ライブは　、食事会は　、ゲームは　です。」

社長「じゃあ午前中はライブ、午後は食事、夜はゲームという流れで企画を作れないか？」

山田君「そうですね、それだったら今晚中に資料をまとめられますよ、任せてください！」

社長「うん、ありがとう、頼むよ！」

まるでプラモデルのように材料を全て揃えてあげ、組み立て方も説明してあげるのです。

こうすることで、プラモデルと同じく自分で作ったという達成感をスタッフに与えることができます。

これを何度か繰り返すことで、「組み立てる喜びをもっと味わいたい」という想いがスタッフの心に芽生え、自分で0から考えるようになっていくものなのです。是非、お試しあれ。